

● **事務局会議でのパソコン活用 10月5日** これまで随分とパソコンの講習会を開催してきましたが、里山の会の事務局ではペーパーレスの必要性は随分と強調されてきました。ところが必要性は理解されているけれども取り組みは進展してきませんでした。事務局会議出席者に事前にレジメが行き渡りますと随分と能率よくなり短時間で深められた会議に改善されると思われます。また欠席者からも意見の反映も考えられます。10月5日では報告は10時30分までにして、パソコンに「電源の入れ方から始め、メールの閲覧ができる」ところを目指して取り組みました。参加者は11名おられて、できる人がサポート役を引き受け、それぞれに行いました。初めてというお方も、マウスを初めて握るという方も、約1時間の取り組みで、メールの開き方をマスターしていただきました。中には映像写真の張り付けや、加工にも挑戦されました。持ち込んでいただいたパソコンではインターネットの接続でご苦労していただくことになったり、様々なアクシデントが生まれましたが、わいわいガヤガヤ通常のパソコン講習会とは違った雰囲気です懸命に頑張っておられました。数回実行すればかなり力量アップが見込まれるでしょう。また先生役のベテランもいい経験になったのではないのでしょうか。

● **河川レンジャー合格就任歓迎昼食会 10月5日** 事務局会議を30分速く終了して、南良さんと中西さんの両名の合格を祝い就任歓迎昼食会を10名で行いました。里山の会理事長から就任祝いの挨拶、山田レンジャーからの歓迎の言葉があり、約1時間歓談に花を咲かせました。現在木津川地域では現職河川レンジャーはいなくて任期4年を経過した後の山田さんと田中さんが、つなぎ役を果たしていただいています。待ちに待ったレンジャーの誕生だったのです。里山の会員であるお二人は4日間の講座を受けて最後の難関プレゼンテーションを経て見事に合格されました。これまで会の活動で随分とお手伝いをいただけてきました。出席者とはすっかり顔なじみで一同心からの歓迎をさせていただきました。南良さんは桂川で、中西さんは木津川で活躍を予定されています。場所は違っていても基本ベースは里山の会の会員です。会員の取り組みとして積極的に支援応援をお願いします。

● **会誌41号の原稿集約進む 全体で140頁を突破か** 活動報告を写真方式に改めたので、この部分のページ数が削減されて、コンパクトになりました。内容では充実した読み応えのある記念誌的ないい作品になるのではないかと予想されます。ご期待ください。これまでは、原稿の集約が印刷予定日直前になるので随分と切羽詰まった編集時間でした。今回は分担をシッカリ守っていただきました。同時に原稿募集の締切を厳格に守るという原則で取り組みましたので、随分と気楽に進行されています。ご用意いただき執筆途中の皆様には次号にご寄稿をお願いします。発行予定を10月20日としています。

● **第6回木津川水質調査 22か所の採取協力者が決定 10月8日（土） 9時30までに持ち込む** 今回で6回目となる木津川一斉水質調査は、台諷18号の影響での降雨が心配されていますが、近畿地方への影響は随分と解消された様子で、このままだと台風による天候よりも通常の雨がどうなるのかということのようです。小雨決行です。雨中で作業には十分足元に注意して滑らないようお願いします。水の採取地22か所の分担者の皆さんには9時30分には分析センター（木津川流域センター）にお届けをお願いいたします。これまで数回の経験者ですので、要領はご理解いただいていると思います。時間に遅れないようにご協力をお願いいたします。

● **木津川竹蛇籠の生き物調査 10月8日（土） 10時から 集合地 玉水橋東詰め 下流側の土手（昨年竹蛇籠を製作した広場）** 今年の4月と5月に蛇籠周囲の生き物調査を行いました。その後数回の冠水が繰り返されました。また水量の低下が長く続く時期もありました。積もった土砂に雑草が繁茂する事態にもなっています。つい先日の増水では完全に水没していて、流されているのではないかとか、壊れてしまっているのではないかと気をもみました。しかし予想以上に頑丈でびくともしていません。かなり頑丈であることがわかりました。10月1日の点検では右岸の3基とも完全に水中に没していました。右岸の1号には白波が発生していました。左岸ではいずれも水中深く沈んでおり大きな反転流が発生していました。8日の調査が楽しみです。製作と設置に関わっていただいた皆さん、設置1周年に当たりま

す。生き物調査を行い竹蛇籠の役割を検証してみましょう。皆様のご参加をお待ちしています。竹門先生には生き物調査のご指導をお願いしています。小雨決行で行います。ぜひとも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

● 10月となり早くも季節が移りました。田圃の稲穂も黄金の実りの時期を迎えています。報道では103という作況指数だとのこと。農家の人々は今年のお米の値段はさらに下落すると嘆いておられます。アメリカ大統領選挙では二人の候補者ともTPPに反対だと表明されていますが、日本の国会では推進すると表明されて、稲作農家の方々は随分と気をもんでおられます。専業農家の西川さんは、とても息子に農業を引き継げとは言えない、俺の代で終わりだとおっしゃっていました。素直に豊作を祝えない秋ですね。

● 第34回京都木津川マラソンの出場選手の受付が始まりました、4日現在の申し込み状況は昨年並みのようです。フルマラソンはかなり人気があるようで、早くも1700人に到達しています。残り枠100人となりました。ハーフマラソンは800人で、ここも残り1000人余となっています。ご友人知人の方々にはできるだけ早く申し込んでいただく様ご案内をお願い申し上げます。間もなく数日間で、余裕はあまり考えられません。募集定員に達しますと、自動打ち切り制度なので、追加は受付られませんので、出場をお考えの皆さんは大至急お願いいたします。いずれもランネット申込みです。郵便振り込みや直接申し込みには余裕がありますが、枠数が相当小さくなっていますので、ご注意ください。例年通りでは間に合わない場合が考えられます。なるべく早く手続きを済ませてください

竹蛇籠設置1周年参加者募集 無料

生き物調査

10月8日(土) 集合時間厳守

午前10時より午後2時30分

集合場所 玉水橋東詰 前回竹蛇籠製作場所

指 導 竹門康弘 京都大学准教授

申し込み 不要 現地受付

持ち物 胴長 弁当 水筒 手袋

ライフジャケット 筆記具 手拭

小学生の参加は保護者同伴のこと

主催 河川レンジャー グループレンジャー

共催 NPOやましろ里山の会 0774-64-4183

共催 京の川の恵みを生かす会 075-38-4253

支援 国土交通省淀川河川事務所